

## 大会参加における諸注意

- 1 良いゲームが展開されるよう、みんなで大会を盛り上げることができるよう協力する。
- 2 チームが会場に到着したら、チーム代表は控室にて受付をする。また、退館するときも連絡をする。
- 3 下履きは玄関でビニール袋に入れてから、入場する。（ビニール袋は個人で用意）  
下履きをそのまま持って、館内を移動しない。各入口に下履きを置いたままにしないこと。
- 4 チームベンチで水分を補給する際は、スクイズボトル・水筒を使用する。  
※ 床を濡らした際は、チームで用意した雑巾を使ってきれいに拭く。  
（冷えたスクイズボトルは、結露が発生して床を濡らすことがあるので注意する。）  
モップでは絶対に拭かない。ペットボトルは使用禁止。  
水の入ったバケツ、水雑巾もフロアーには持ち込まない。
- 5 ゲーム終了後は、速やかにベンチを空ける。また、TO割当の場合は遅れないようにする。  
(指導者は、まず選手をベンチエリアから出して次のゲーム関係者の邪魔にならない所で話をする。)
- 6 応援について  
ベンチ内での道具を使った応援はルール上禁止。  
ベンチでのうちわの持ち込みは、応援に使わないという条件で認める。  
ベンチでの応援で、フロアを踏み鳴らすような行為は禁止。  
応援席での道具を使った応援はできる。（ペットボトル等で手すりを叩くことは禁止）  
フェアプレーの精神からはずれた応援は慎む。  
\* 競技規則の精神「観客は規則のよき理解者として、よいプレーを勇気づけるのが役目である。」  
具体的には、次のような応援、行為は禁止。  
\* 相手を野次するような応援 \* 相手のファウルやミスを嘲笑するような応援  
\* フリースロー時にわざと視界を邪魔したり、声を発したりする行為  
\* 他にもフェアプレー精神からはずれた応援
- 7 選手がベンチでユニフォームに着替える行為はマナーとして行わない。
- 8 ベンチマナーについて  
「クリーンバスケット、クリーンゲーム」に則り、ベンチにおいて指導者、選手に関わらず節度ある行動を心がける。相手チームへのヤジや審判の判定に関して異議を唱えることが無いようにする。  
(特に指導者が審判に対して度々失礼な態度で接したり、話しかけたりすることはテクニカル・ファールの対象になるとともに、選手にも良い影響を与えない。)  
もし、説明を求める場合は、競技規則に載っているとおりとする。気持ちの良いゲームにするためにプレーヤー、指導者、審判の協力が必要です。

9 フロア内の扱いについて

フロア内の座席は大会役員および大会関係者専用です。（サブアリーナについてはチームベンチ対面を保護者席とする。）また、フロア内でチームや選手に対するコーチングもできない。

10 選手の荷物置き場

各チーム割り振られた席を利用する。

貴重品の管理は各自で行う。

## クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム

### ～暴力暴言根絶～（JBA）

クリーンバスケット --- バスケットの価値を高める（オフコートでの在り方）  
クリーンゲーム --- 試合の価値を高める（オンコートでの在り方）  
暴力暴言根絶 --- 選手、審判への暴力暴言禁止

一般社団法人 栃木県バスケットボール協会長 小曾戸 和彦  
一般社団法人 栃木県 U15 ユース育成マネージャー 生澤 暢大